

奥秩父 金峰山山山行記録

記:鳥切昇治



金峰山五丈石の鳥居前で

期 日:2019年6月23日(日) 天候:曇・ガス

山 域:奥秩父 金峰山(2599m)

メンバー:エミ(L) 佐藤京子 山崎昴 鳥切昇治

行動記録

コースタイム

大弛峠 8:04—朝日峠 8:35—(8:59~9:08)—9:18 朝日岳—9:41 鉄山分岐—10:02 賽の河原 10:15—10:25 金峰山 10:46—鉄山分岐 11:28—(朝日岳手前で10分程休憩)—12:08 朝日岳—12:38 朝日峠—13:07 大弛峠

大弛峠に7時40分頃到着。この標高は2360m。曇り空でガスが垂れ込めている。日曜日なので広い駐車場も大方埋まっていた。駐車場前の一段高い所にある筈の大弛小屋

はガスで見えない。

風があつて結構寒い。身支度を整え車の脇でストレッチをする。晴れ女と言う京子さんがいるから雨は大丈夫だろうと出発する。



大弛峠に到着。身支度を整える



登山口の入口で

駐車場の左脇から少し下って登山道に入る。シラビソ林の中の尾根筋を短い上り下りを繰り返しながら登って行く。少し急なガレ場を下って行くと朝日峠だった。ガスがシラビソ林の中まで入り込んでいて幻想的である。シラビソ林が切れ、岩場の所に出て小休止する。

開けているので眺望が良い所だろうが、相変わらずガスで遠くの景色は見えない。ただ川上村のレタス畑と思われる白いビニールが良く見えた。10分程登ると朝日岳(2579m)



朝日峠



朝日岳山頂を通過

山頂に着いた。この標高は金峰山より20m低いだけだけ特徴が無い。甲府側は開けているので晴れていれば眺めが良いのであろう。朝日岳を通過して行くとガレ場の下りになり再びシラビソ林の中に入る。鉄山への登り口はロープが張ってあつて右に分岐する捲き道を歩く。道はグチャグチャで足元に注意して歩く。金峰山への登りになる。この辺りから石楠花が多くなるがまだ早いようで咲いていない。残念。

森林限界を超え、這い松が多くなり視界が開けた。賽の河原のようだ。石のベンチで小休止する。右手に大きなケルンが二つ積んである。ガスが切れて這い松の先に岩山が見えた。金峰山の様だ。賽の河原から金峰山山頂はすぐだった。



賽の河原で一休み



這い松の先に金峰山が見えた



大石の門を潜ると金峰山山頂だった

大石の門を潜ると右手に二等三角点と金峰山山頂の標識が立っていた。下を見るとガスの切れ間に五丈石が大仏さんの様に座って見えた。五丈石に登ろうとしている登山者もいる。五丈石の鳥居のある所まで下る。

ザックを降ろして休憩する。五丈石の上まで登れるだろうかとエミさんと眺めやる。登ってみなければ分らないが最後の所が難しそうに見えた。彼方此方の岩陰にアカバナヒメイワカガミが咲いていた。記念写



金峰山五丈石まで下る



金峰山山頂で

真を撮ってから引き返す。

往路では気が付かなかった花が目につく。這い松の中にキバナシャクナゲが咲いていて、ミネズオウも小さな花を一杯咲かせていた。



アカバナヒメイワカガミ



キバナシャクナゲ

朝日岳手前のシラビソ林の中で小休止しただけでのんびり歩き、大弛峠まで戻って来た。雨に降られずに戻って来られて助かった。晴れ女の京子さんに感謝！

《参考》歩行距離:8.9km 高低差:239m 累積上り/下り:560m/564m



ミネズオウ

* 大弛峠のトイレについて

建物は立派なのに余りの汚さにビックリし、利用する気にならなかった。利用する人達のマナーも悪いが、管理する側も悪いと思う。定期的に掃除をして綺麗にしてあげれば利用者が綺麗に使う筈だ。何とかして綺麗にして欲しいものだ。

《追記;新人の感想》

佐藤京子さん

梅雨時期の山行なので、雨でも決行との連絡を受け、防水スプレーを念入りにかけて、準備をしましたが、想定外に今回も雨にあたる事はなく、快適な山行となりました。



今回の登山で私が楽しみにしていたのは、金峰山のシンボル、五丈岩です。想像以上に大きくてビックリ！ 登る事は出来ませんでした。岩をバックに、皆で集合写真を撮ってもらいました。親子三世代のファミリー登山の記念写真のようで、実際にそんな感じの山行でした。

今回の登山では、先輩にたくさんの事を教わりました。シラビソの林の事、植物の名前、稜線の確認の仕方など、これからはもっと注意深く辺りを観察しながら歩こうと思います。

横須賀山岳会に入会して半年、見習い会員としてまだまだ覚えなくてはいけない事がたくさんあります。早く一人前になり会員としてしっかり活動できるように努力して参りますので、これからもご指導宜しくお願い致します。

山崎昂さん

金峰山では梅雨時ではありましたが、あまり雨を感じずに、登山する事が出来、ホッとしました。登山途中にはシラビソ、シャクナゲなど、様々な植物や花を知ることが出来、学びとなりました。今後も周囲を注意深く観察しつつ登山に挑戦していきたいです。



以上